

「今日マチ子『わたしの#stayhome 日記』2020－2023 展」
の実施報告について

- 1 開催期間：2023年4月22日（土）から6月25日（日）
- 2 開催場所：町田市民文学館ことばらんど2階展示室
- 3 観覧者数：5,530人／54日間（1日平均：103人）
- 4 協力：rn press、川名潤装丁事務所
岩崎書店、太田出版、KADOKAWA、河出書房新社
ProductionI.G

5 開催報告

展示会場には主要作品として、コロナ禍にあった2020年から3年間の日常を綴った「#stayhome 日記」シリーズ3冊の中より80点を日付順に配置し、展示会場を歩きながら、書籍のページを1ページずつ追うように作品と作者のコメントを鑑賞できるようにしました。「書籍を立体化する」というシンプルな構成が今日氏の静謐な作品と合致し、来場者からはシンプルな展示が作風によく合っていると好評を得ました。

会場にはほかに、「関東大震災」「ひめゆり学徒隊」「東日本大震災」など、震災・戦争など歴史的・社会的な災厄と個人との関係性に、常に創造性の原点を見出してきた作者の歩みを感じさせる、書籍・原画やアニメーション作品の上映コーナーを設置しました。

本展は「今日マチ子」というコアなファンを有する漫画家の初の大規模個展という話題性と、「コロナ禍の日常」という年代や性別を問わない「共通体験」を採り上げたことにより、幅広い年齢層に受け入れられる内容となりました。

(1) 関連事業

実施日	タイトル	参加人数	備考
4月22日	オープニング記念対談 「エッセンシャルなものってなに？」	88人	出演：辻村深月×今日マチ子
5月20日	座談会「今日マチ子のつくりかた」	75人	出演：今日マチ子×川名潤（デザイナー）×野口理恵（編集者）
6月10日	アーティストトーク	30人	出演：今日マチ子×担当学芸員
4月23日	展示解説①	16人	
5月7日	展示解説②	13人	
6月18日	展示解説③	28人	

(2) 資料

- ・「わたしの#stayhome日記」デジタル原画 80点
 - ・長編漫画「cocoon」「ニンフ」表紙原画・漫画原稿 40点
 - ・「百人一首ノート」原画 35点
 - ・「センネン画報」原画 50点
 - ・アニメーション映像「みつあみの神様」
 - ・制作用画材、メモ、愛読書 ほか
- 合計：約 220 点

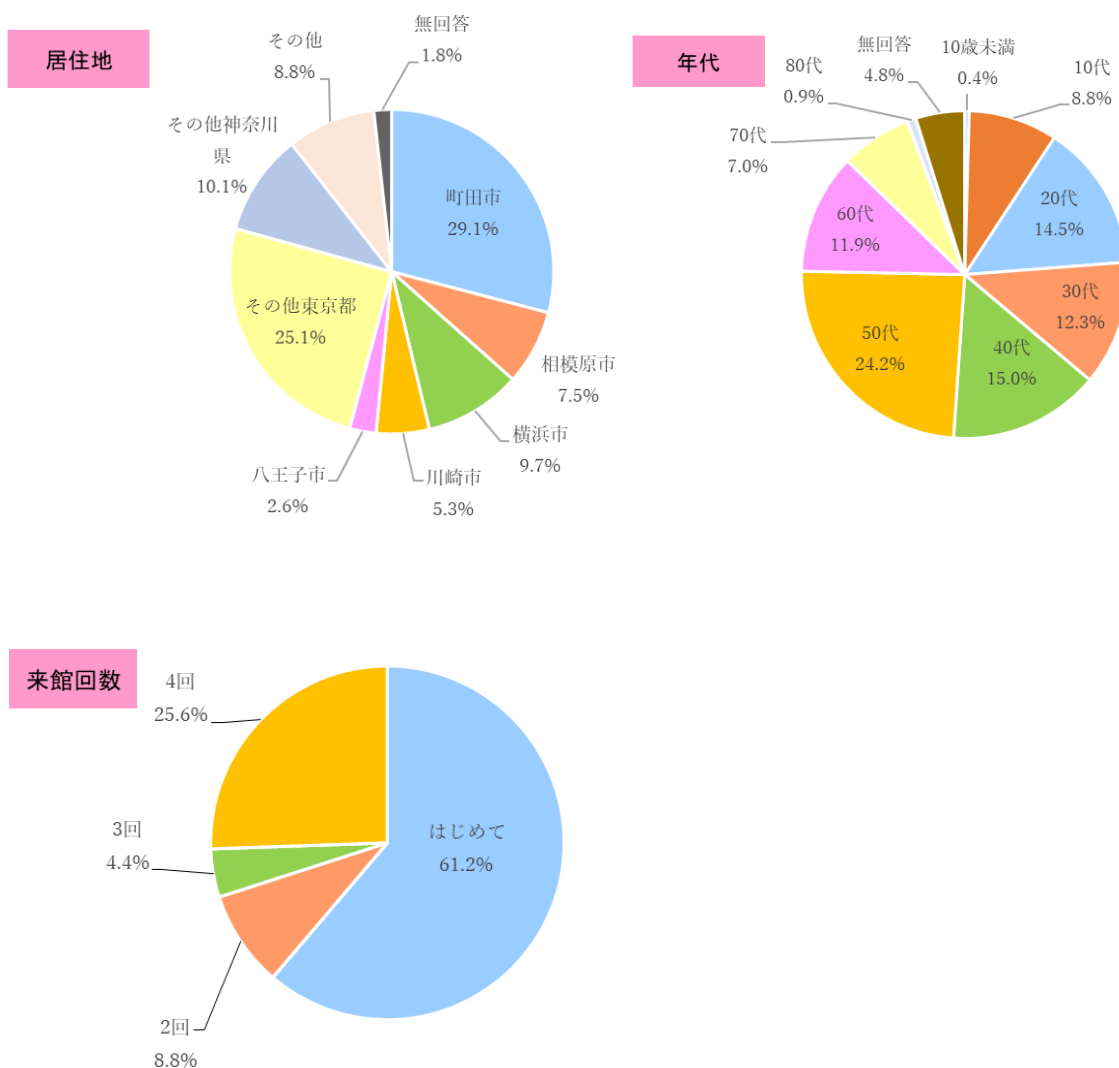
(3) パブリシティ

- ・コミックナタリー公式 Web 4/2
 - ・CINRA NET 公式 Web 2023年4月/6月
 - ・「読売新聞」5/9 展覧会紹介
 - ・「共同通信」47NEWS
 - ・「東京新聞」Web 5/17 展覧会紹介
 - ・「秋田魁新報」5/23 展覧会紹介
 - ・「下野新聞」5/24 展覧会紹介
 - ・「産経新聞」6/5 展覧会紹介
 - ・「毎日新聞」6/21 展覧会紹介
 - ・「東京人」2023年6月号
- ほか

(4) 来館者アンケート

本展の特徴として来場者の居住地が、市内が29%に留まったのに対し、都内他区・市や相模原など近隣市域が約60%に及んだことがあげられます。また、年代別では20代から40代をターゲット層としていましたが50代が最も多く、想定していた年代層よりも高い傾向を示しました。

回答者の99%から満足の評価をいただき、「現実を美化しない、それでいて現実そのものの美しさ、残酷さを軽やかなタッチで描いていることに心からながみが湧き上がってくる感動がある」「作品世界を尊重した展示空間がいい」「様々な人（老若男女）が共感できる」「絵だけでなくコトバの力も感じた」との意見が寄せられました。



今日マチ子「わたしの#stayhome 日記」2020-2023 展
展示会場風景



「わたしの
#stayhome 日記」
シリーズ

ストーリー漫画
「cocoon」
「ニンフ」紹介部分



SNS 漫画の先駆け
「センネン画報」